



# 適正処理のための優れた取り組み事例

- ◆エアバッグ類の処理前に、車台詳細情報を印刷し現場作業員が見ながら個数確認を実施。処理後の記録も詳細情報に記入し、事務担当者に渡している。

◆メーカー等提供のエアバッグ類装備情報 (「※」はオプション装着の可能性がありますので、現車をご確認ください)					
運転席	1	) 個別			
助手席	1				
サイド	X	エアバッグなし			
カーテン	0				
ブリテン	2	取り外し			
◆エアバッグ類 詳細情報					



- ◆エアバッグ類の処理後、作業員以外の従業員による結果の2重チェックを実施している。



- ◆定期的な社内勉強会や解体組合等の勉強会に参加し、自動車リサイクルの適正処理業務について最新の知識を得ている。

◆エアバッグ類の処理結果の記録を写真に残し、確実に記録している



実績記録を補完する写真のイメージ



プリテンショナー 作動済とわかる 写真

◆作業現場にエアバッグ類の車上作動処理方法を掲示し、確実な安全作業を実施している



◆車両管理担当～現場担当～移動報告担当間の連携が取れており、確実な情報共有と管理が成されている

